

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ)		授業コード	E002702
担当教員名	吉本 圭一郎		科目ナンバリングコード	E41204
配当学年	4	開講期	前期	
必修・選択区分	必修	単位数	4	
履修上の注意または履修条件	簿記や会計、経営分析などの分野に興味をもっている人が望ましいです。			
受講心得	ゼミでは、論文の途中報告を発表してもらいます。計画的に卒業論文を作成していきましょう。			
教科書	未定			
参考文献及び指定図書	ゼミで案内します。			
関連科目	簿記・会計科目、財務管理論、経営分析			

授業の目的	本ゼミでは、簿記・会計学の専門的学習を通じて、ものの見方や考え方、特にものごとを相対化して考える能力を養っていきます。また、課題発表や議論を積極的に行うことで、プレゼン能力や他者とのコミュニケーション能力の向上も目的としています。 ゼミナールⅣでは、これまでの集大成として卒業論文の作成が主となります。
授業の概要	毎週報告者を決め、発表してもらいます。各自の卒業論文テーマに基づいてレジュメを作成し、発表してもらいます。 希望者には、大分市の高齢化地区における地域活性化の課題に対処するため、佐賀県地区において、地元NPO(さかのせき・彩彩カフェ等)と協働で交流イベントの企画、運営を通年で実施し、会計学の観点から地区の活性化に資する提案を行ってもらいます(NPOの活性化を含む)。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：履修指導 オリエンテーションと履修指導を行います。	配布資料(「論文の書き方」)
第2週：論文構想1 どのようなテーマで卒業論文を作成するか、構想を練り、テーマを調査します。	配布資料(「論文の書き方」)
第3週：論文構想2 どのようなテーマで卒業論文を作成するか、構想を練り、テーマを調査します。	配布資料(「論文の書き方」)
第4週：論文構想3 どのようなテーマで卒業論文を作成するか、構想を練り、テーマを調査します。	配布資料(「論文の書き方」)
第5週：論文テーマの決定 これまでの調査をふまえて、卒業論文のテーマを決定します。	配布資料(「論文の書き方」)
第6週：論文目次作成1 卒業論文の目次を検討します。	配布資料(「論文の書き方」)
第7週：論文目次作成2	

前週に引き続き、卒業論文の目次を検討します。	配布資料(「論文の書き方」)
第8週：論文目次作成3 前週に引き続き、卒業論文の目次を検討します。	配布資料(「論文の書き方」)
第9週：卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は、各自の卒業論文について、ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して、論文の精度を高めていきます。	各自卒業論文
第10週：卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は、各自の卒業論文について、ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して、論文の精度を高めていきます。	各自卒業論文
第11週：卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は、各自の卒業論文について、ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して、論文の精度を高めていきます。	各自卒業論文
第12週：卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は、各自の卒業論文について、ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して、論文の精度を高めていきます。	各自卒業論文
第13週：卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は、各自の卒業論文について、ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して、論文の精度を高めていきます。	各自卒業論文
第14週：卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は、各自の卒業論文について、ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して、論文の精度を高めていきます。	各自卒業論文
第15週：卒業論文について発表・ディスカッション 発表報告者は、各自の卒業論文について、ゼミで報告してもらいます。皆でディスカッションすることを通して、論文の精度を高めていきます。	各自卒業論文
第16週：期末試験 試験はありません。	
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング 「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	論文テーマに基づき、何をすべきか自主的に行動することができる。
【知識・理解】	論文テーマについての基礎的知識・理解がある。
【技能・表現・コミュニケーション】	自身の考えを発表し、相手に伝えることができる。
【思考・判断・創造】	問題意識を持ち、それについて自分の考えを文章として正確に表現できる。

○成績評価基準(合計100点)	合計欄	100点
------------------------	-----	------

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点	20点
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。			

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	ゼミで報告者を決めますので、報告者は責任をもって行ってください。ゼミ報告で発表する卒業論文の内容で評価します。
発表・その他 (無形成果)	ゼミ報告の中で適宜質問します。質問に対する解答については、成績評価において加点することがあります。